

アカウンティングスクール（国際会計研究科）

中央大学大学院国際会計研究科は、2017年度から学生募集を停止することになりました。

2002年4月に開設され、会計とファイナンスの融合をめざし、高度職業人養成に努め、現在に至るまでに1,057名の入学者を迎え、924名の修了生を社会に送り出してきました。

このたび、社会環境の変化に鑑み全学的な検討を行った結果、リカレント教育の強化を図るため、



2010年度から市ヶ谷田町キャンパスに移転



2009年度までは市ヶ谷キャンパスにて授業を実施

本研究科独自の学生募集を停止しリソースを再編成して、特色ある教育体制を新たに展開していくことといたしました。

これまで国際会計研究科の教育研究活動にご理解とご協力いただいた皆さまに心から御礼申し上げますとともに、本学のさらなる発展にご支援賜りたくお願い申し上げます。



開校10周年記念式典「CGSA One Decade Celebration」(2011年8月21日開催)の様子

ロースクール（法務研究科）

2015年9月8日（火）、法務省にて平成27年司法試験の最終合格者が発表され、中央大学ロースクールは、法科大学院別で全国最多となる170名の合格者を輩出しました。

中央大学ロースクールには、法曹にふさわしい素養と人間性をはぐくむハートフル・メソッドが息づいており、合格への道を強力に支えています。

この「ハートフル・メソッド」を体現する企画の1つとして、ロースクールでは、在学生向けに「合格体験を語る会」という当年度の司法試験合格者が、合格直後の喜びや自らの学生生活を振



講演された平成27年司法試験合格者の方々

り返るとともに、熱いメッセージを送り、同じ目標に向かって後輩たちを激励するという会を行っています。

2015年度は参加対象を学年別に2日に分けて実施し、2・3年生を対象とした10月8日の会には、3名の合格者に登壇していただきました。

合格者からは、学習の進め方のみならず、就職活動を意識した取り組みなど、三者三様、成功体験、失敗談も含め、具体的に報告がありました。とりわけ、在学中から修了後を意識して活動していくことの重要性について語られた場面で、在学生在が真剣に耳を傾けていたのが、と

ても印象的でした。

体験報告の後は、質疑応答となり、活発な意見交換が行われました。先輩たちの表情は終始優しさが絶えることが無く、時には笑いあり、全体的にはリラックスしたムードのなか、あっという間の1時間半でした。

終了後のアンケートでは、「勉強に対する姿勢や意識を聞くことができた」「今、行うべき点を指摘していただいて有意義だった」「今まで就活について話を聞いたことがなかったので、その話が聞いて有益だった」等、多くの好意的な感想が寄せられました。

ビジネススクール（戦略経営研究科）

日本ビジネススクール・ケース・コンペティション（JBCC）は、課題を抱える架空企業を題材に、国内ビジネススクール現役生が戦略提言を行うものです。6年目の開催となる今年は22大学から160チームが参加し、予選を通過した16チームが7月26日に慶應義塾大学日吉キャンパスで行われた本選（セミファイナル・グランドファイナルの2部構成）に進みました。

中央大学ビジネススクール7.0期生4名（平野、山林、西村、榎本）は、セミファイナルのブロック戦（慶應義塾、金沢工業、北九州市立と同ブロック）を1位で通過し、グランドファイナルでDIAMONDハーバード・ビジネスレビュー賞（3位相当）を受賞しました。

以下、受賞した学生のコメントです。「今年は、東北地盤の中堅書店チェーンの再生をテーマとした出題でしたが、実務と理論の融合を目指すCBS（中央大学ビジネススクール）での学びの成果を、私たちに結実することができました。優勝は逃しましたが（1位：一橋、2位：



DIAMONDハーバード・ビジネスレビュー賞を受賞

グロービス)、総評では複数の審査員がCBSを名指してお褒め下さり、CBSの特長を示せたのではないかと考えています。」

「有形無形のご支援をいただいた先生方、修了生・在校生の皆さま、南甲倶楽部の皆さまに心より感謝致します。これからもJBCCに限らず、中央大学のさらなる発展に向けてCBS一丸となって取り組んでいきます。」